

空き家の適正管理に向けて

## 只見町空き家等対策協議会を設置

6月27日、全国的に空き家対策が課題となっている中、町内の空き家対策を更に進めるため、只見町空き家等対策協議会の設置と第一回目となる会議が役場で行われました（事務局・地域創生課）。同協議会は建築士会や警察・消防、県機関など様々な団体から構成されており、今回は「空き家等の適正管理に関する条例」や「空き家等対策計画」の一部改正に向けた説明があった後、今後の対応方針について協議されました。今後、町内の空き家について調査を実施し、所有者に対して、空き家の適正管理をお願いしていく予定です。



▲菅家町長を委員長として設置された同協議会

151年目の取り組みとして

## 第一回戊辰セミナーを開催

6月30日、只見振興センターで今年度第一回目となる戊辰セミナーが開催され、約60人が町内外から参加しました。今回は、元只見町教育長の飯塚恒夫さん(坂田)を講師としてお招きし、八十里越の関門を中心にご各地で西軍と戦った「山内大学隊」に焦点を当てた「只見での戦い」について解説していただきました。また、講演の最後には、戊辰戦争を通じて只見人が示した「義」についても紹介されました。戊辰151年を迎えた今年も昨年に引き続き、関連するセミナーなどが行われます。（次回は8月25日、同会場で開催予定）



▲新潟県からの参加者も見られた同セミナー

映画「峠最後のサムライ」公開に向けて

## 長岡商工会議所の皆さんが来町

7月5日、長岡商工会議所の丸山会頭を始めとする4名の皆さんが来町され、町内施設の訪問や菅家町長らとの意見交換を行いました。長岡商工会議所は、映画「峠最後のサムライ」（2020年公開予定）製作支援の会の事務局となっており、昨年12月には、「奥会津只見継之助会」（会長・角田行雄）の皆さんが、町内で募った協賛金80万9千300円を丸山会頭に手渡ししています。映画の製作・公開を契機に、長岡市や関係団体との今後ますますの交流促進が期待されます。



▲交流を深めた関係者の皆さん（前列左から2番目が丸山会頭）

5年連続で全小中学校が受賞

## 良い歯の学校表彰を受ける

7月8日、町内の小・中学校4校の校長先生が役場を訪れ、「令和元年度福島県学校歯科保健優良表彰」の受賞を菅家町長と渡部教育長に報告しました。

同表彰は、県内の小・中・特別支援学校の優良な保健歯科活動に対し行われるもので、本表彰により、町内全ての小・中学校が5年連続で受賞するという素晴らしい結果となりました。今回は、只見小が「優秀賞」、明和小が「努力賞」、朝日小と只見中が「奨励賞」でしたが、来年度以降の「最優秀賞」受賞を目指し、引き続き、各校で保健歯科活動に取り組んでいきます。



▲報告に訪れた4校の校長先生

【民具収蔵庫の新築工事】  
住民説明会を開催

7月8日、明和振興センターにおいて、会津只見考古館脇に建設中の民具収蔵庫に係る住民説明会が開催されました。同会には、設計監理者である(株)清水公夫研究所と施工業者である(株)南会西部建設コーポレーションも参加し、進捗状況や今後の工事計画などを説明しました。その後、町民の皆さんから完成後の活用方法等についてアイデアが出され、活発な意見交換が行われました。

施工期間は来年の9月末までとなっており、令和3年の4月から、民具の移動(現在、旧朝日公民館に保管)や外構工事が実施される予定です。



▲施工業者である(株)南会西部建設コーポレーションの説明を聞く町民の皆さん

【只見町の「山村教育留学制度」を知る】  
埴町議員団の皆さんが来町

7月9日、山村教育留学制度への理解を深めることを目的に、埴町議員団17名が来町されました。埴町の県立埴工業高校は、県立高校改革の前期実施計画により、令和5年度に白河実業高校・修明高校と統合される予定であることが県教育委員会から発表されています。埴町議員団としては、同校の存続を希望しており、全国から生徒を募集する留学制度の導入も選択肢の一つとして検討されています。当日は、只見町教育委員会が平成14年から実施している同制度の内容について説明を行いました。



▲本町教育委員会が山村教育留学制度を紹介した

【功績を称える】  
堀金保男さんが瑞宝双光章を受章

7月16日、元只見中学校長の堀金保男さん(小林)の高齢者叙勲(瑞宝双光章)伝達式が役場で行われました。

堀金さんは、校長として生徒第一の教育環境を追求しながら学校経営に尽力された他、只見町小中学校長会長など数々の要職を務め、南会津郡全体の教育振興に多大なる貢献をされました。

堀金さんは、現在も本町の教育と文化の発展のため、有識者として様々な場面でご活躍をされています。



▲渡部教育長から叙勲の伝達があった後、菅家町長に受章の旨を報告した堀金さん(中央)

【工事進捗率は81%に】  
八十里越事業概要説明会

7月18日、只見町と新潟県三条市を結ぶ国道289号「八十里越」の事業概要説明会が季の郷湯ら里で開催され、両市町の議員や関係者などが出席しました。説明会では、長岡国道事務所より今年3月末時点での工事進捗率(国直轄権限代行区間)が81%と発表された後、それ以外の両県施工区間における来年3月の工事進捗率見込みも示されました(福島県側94%、新潟県側92%)。

開通後の交流人口の拡大や誘客促進などが見込まれており、引き続き早期完成が期待されています。



▲只見町・三条市双方の関係者が出席した